

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「島瀬公園のキラキラフェスタ」撮影：水田 孝氏

INDEX

- ごあいさつ……………①
- 「病院機能評価」受審を終えて
- 学術講演会報告……………②
- 腎・尿管結石症の新しい治療戦略 f-TUL について
- 診療活動の現況……………③
～人工膝関節置換術の話：運動器症候群（ロコモ）の救済法として～
- 外来待ち時間調査結果……………⑤
- 趣味を語る～絶対に負けられない戦いがそこにはある～
- 地域医療連携室より……………⑥
- 年末年始の当直体制
- 編集後記
- 外来診療担当表……………⑦

患者さんの権利

1. だれもが、個人として常にその人格、価値観を尊重される権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで説明を受ける権利があります。
4. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自ら決定する権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利があります。当院の定めるところの形式に従い、カルテ開示の請求が行えます。
6. 自分の情報を承諾なくして第三者に開示されない権利があります。
7. 他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



現代はインターネットや携帯の普及で瞬時に情報交換ができるようになり、メディア革命の時代といわれます。新型インフルエンザの流行が問題になっていますが、メディアの活用による情報の共有化で適切な対策を速く浸透させることが出来ているのもメディア革命の成果といえます。

昔は情報伝達が人と人との交流でのみ行われ、現代の通信網に相当したものが街道でした。近いところでは平戸口から彼杵に至る16里（約63km）の街道が平戸往還と呼ばれて、平戸藩主の参勤交代や長崎勤番の往来に利用されました。途中にあった早岐本陣は藩主が必ず泊った宿駅であり、残存している門を中心に一帯には当時の面影が残っています。本陣跡地で医業を継承されている村上京子氏の談話では、門の屋根は改修されており元の瓦は隣接していた脇本陣の門に移されたということです。脇本陣の門自体も近くの住吉神社に移築されていますが、パソコンの活用で瓦の複製・貼付を行えば、本陣の門は容易に元の姿に再現できると思われま



■写真：早岐に残る本陣(上)と脇本陣(下)の門

「病院機能評価」受審を終えて

副院長 萩原 博嗣

当院は去る11月11日から3日間にわたる「病院機能評価」受審を終了しました。ご存知の方も多いでしょうが、病院機能評価とは病院運営の為に必要な医療サービスの内容、病院の管理・運営などの実態を第三者機関が評価するというもので、これによって病院の組織及び職員一人ひとりの意識と能力を高め、地域で担っている医療の質を向上させることが目的です。今年からは第6版の基準「バージョン6」を使って実施されました。

審査の基準は厳しく、非常に多岐にわたる機能が求められますので通常は1～2年の準備期間が必要とされますが、当院は3月に取り組みを始めて僅か8ヶ月で受審までこぎつけることができました。小項目だけでも379に上る要求を満たす為に新たに作ったり見直しを行なった各種委員会・会議の規定は30近く、各種マニュアル・内規の数は150以上に上ります。問題多端な現状の中でこれを成し遂げた職員の頑張りは大変なもので、よく集中力を発揮することができたと振り返っているところです。

審査結果は2ヶ月後には届くことになっています。次号の「きょうさいだより」では良い結果をご報告できることを楽しみにしております。

日時：平成 21 年 10 月 21 日（水）18 時 45 分より

会場：当院 8 階大講堂

演題：最新の大動脈瘤治療：ステントグラフト内挿術

演者：久留米大学心臓血管外科 田中厚寿先生

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療が 2006 年 7 月に本邦でも許可されました。田中先生は約 10 年前からこの治療に携わってこられ、今回の講演では 豊富な治療経験をもとにステントグラフトの基礎知識、腹部大動脈瘤と胸部下行大動脈瘤に対するステントグラフト治療、治療上の問題点、治療成績などについて 3D 映像を用いて紹介されました。講演後半は、現在臨床治験中の弓部大動脈瘤に対する日本製ステントグラフトについても触れ、今後この分野での治療が進み、選択肢が増えるでしょうと締めくくられました。

腎・尿管結石症の新しい治療戦略 f-TUL について

泌尿器科部長 江口 二郎

当院泌尿器科では、1990 年に体外衝撃波碎石術（ESWL）を県北地区では初めて導入、経尿道的尿管碎石術（TUL）や経皮的腎碎石術（PNL）の内視鏡手術（図 1）も行い、多くの腎・尿管結石症患者さんの治療をしてきました。いずれも優れた手術治療法でお腹を切って結石を取り出す手術（切石術）に取って代わるものでした。しかしながら TUL では治療中に尿管の結石が腎臓内に上昇してしまって ESWL へ変更になったり、ESWL では決して大きくは

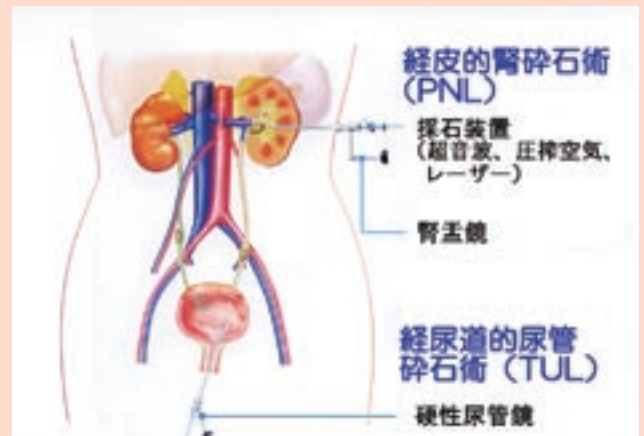


図1 腎・尿管結石に対する内視鏡手術

ない結石に 2 回、3 回と治療をしても効果がなかったり、碎石片が尿管に長期間とどまったりすることがあり、また PNL では血管の塊である腎臓に比較的大きな穴を開けることで多くの出血をきたすこともありました。

当科で昨年 6 月より開始した f-TUL は胃カメラのように軟らかい軟性腎盂尿管鏡とホルミウムヤグレーザーとの組み合わせによる新しい治療法です。従来金属製の硬性尿管鏡で行っていた TUL は内視鏡を尿道から膀胱、尿管へ挿入して、結石を直接カメラで確認しながら少しずつ碎石あるいは抽石する手術法です。硬性尿管鏡の性質上その観察範囲は限られ、患者さんによっては尿管の途中までのこともあり腎臓内まで充分にみることはできません。これに対して軟性腎盂尿管鏡では腎臓内まで充分に観察でき、結石をホルミウムヤグレーザーで碎石（図 2）して抽石することができます。f-TUL では腎・尿管のほとんどすべての部位の結石をより高い確率で、より安全に治療することが可能になりました。できる限り碎石片の回収も行うので、今までより短期間で結石消失も期待できます。

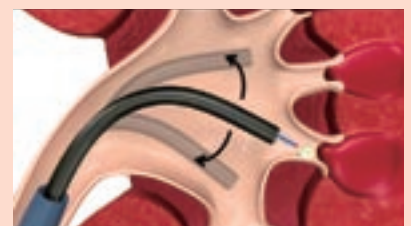


図2 f-TUL による腎碎石術

診療活動の現況 ～人工膝関節置換術の話：運動器症候群



〔はじめに〕

高齢化社会の到来とともに、長生きするにしてもいかに元気で活動性を保つかということが大事なテーマになってきました。

日本整形外科学会は「運動器症候群-ロコモティブシンドローム-」という概念を提唱しており、この言葉は最近ではロコモという略称で一般になじまれつつあるようです。ロコモは、「運動器の障害により要介護となるリスクの高い状態」と定義づけられています。その中でも脊椎の障害と共にもっとも日本人の中高齢者に多く、移動の障害の原因になっているのが膝関節に起こる変形性膝関節症といわれる病態です。

〔変形性膝関節症とは〕

関節の軟骨や周辺組織の退行変性が基盤となって、体重がかかることなどによって関節の変形や不安定性が強くなり、やがて日常の歩行障害などの原因となります。全身の関節の中でも膝は関節症が最も起こりやすく、日本での有病者は800～1,000万人と推定されており、女性に多いことが知られています。膝痛は安静時ではなく起き上がる時などの動作の開始時に起こることが特徴的で、進行すれば歩行が困難となってきます。

X線検査の所見では①関節の隙間が狭くなって、②軟骨に接する骨の硬化、③関節辺縁に棘状の骨増殖（骨棘）などが見られます（図1）。

〔保存的治療法〕

支える力が弱くなった膝に過大な負荷がかかることが悪化の原因になっていることをご理解下さい。そのため、まず肥満対策と重いものを持って長歩きをするなどの過重な労働を避ける必要があります。それと同時に大腿の筋力増強が大切です。いろいろな訓練法がありますが図に効果的な方法をお示しします（図2）。またバランス訓練を兼ねたフラミンゴ体操も大変有効で、これには骨粗鬆症の改善効果もあります（図3）。

このほかヒアルロン酸の関節内注入などの薬物療法も一般的に行われています。杖や押し車（シルバーカー）の使用は嫌がる方が多いのですが、転倒防止の意味もあり、是非試してみることをお勧めします。



図1
変形性膝関節症（70才代男性）のX線
関節の内側（右側）が狭くなり内反変形し、骨の硬化・骨棘が生じている。



図2
上；両膝の下に枕をおき足首に米袋などの重り（3～5Kg）をのせる。



下；膝裏で枕を下に押し付け足首で重りを持ち上げる。5秒続けてゆっくり降ろして休む。
これを10～20回行って1セット、毎日2～3セット行うと効果的です。



図3 フラミンゴ体操
片足立ちでバランスと筋力の訓練を行います。

〔人工膝関節置換術〕

保存的治療は初期の症状には有効ですが、進行して軟骨が消失して痛みが強くなった場合にはあまり期待できません。65才以上の方の場合その解決法として人工膝関節置換術をお勧めしています。

a) 手術の概要

変性した骨その他の関節構造物を必要最小限に切除して、耐久性に優れた金属と関節軟骨の代わりをする特殊なプラスチックに入れ替えるという手術です。通常脊椎麻酔で行い、手術時間は2時間弱、入院期間は4～5週程度です。

(図4,5)

b) 近年の手術の進歩

以前は術後の膝の曲がりが悪いことや耐久性に問題があるとされていましたが、様々な研究の結果近年では手術成績は目覚しく改善しています。

改善点として、人工関節そのものの材質、デザインの改良に加えて手術手技の進歩があげられます。関節の内側と外側および伸展時と屈曲時のバランスを正確に調整する技術(ギャップテクニック)などにより関節安定性、可動性、耐久性が大変良くなっています。

c) 手術後の経過

手術の翌日から車椅子移動、3～4日目から歩行訓練を開始し、2～3週で階段昇降を行います。術後の膝屈曲は平均130°で正座はできませんが横すわり程度は可能となります。何よりも痛みがなくなって歩けるようになる効果が優れており、手術の満足度が高いのが特徴です。耐久性は20年位は大丈夫と考えられており、当院では年間70例程の手術を行っていますが再手術となった例はほとんどありません。

d) 手術の問題点

手術と術後のリハビリ訓練に耐えられる「体力と気力」が不可欠です。手術は無菌手術室で行い、手術合併症への対策も発達していますので、ご本人にこの2つさえあれば後はあまり大きな問題になることは少ないと考えています。したがって年齢的にも「体力と気力」が残っている80才代前半頃までに行なうことが必要で、手術のタイミングを逃さないことも大切です。

e) 手術をしなかった場合の自然経過

進行した変形性膝関節症の場合、残念ながら自然改善は望まれず、徐々に悪化すると考えなければなりません。手術を避けるならば膝の状態に生活形態を合わせていく必要があります。

〔まとめ〕

膝が痛いまま我慢していても良くなることは望まれず、逆に徐々に歩かなくなりやがて「ロコモ」として要介護となることが多いのです。そのような方には思い切って人工膝関節置換術を受けて活動的な生活を取り戻すことをお勧めします。多くの手術がある中で、これは本当に受けてよかったと喜んでいただける手術のひとつだと申せます。是非一度整形外科外来にご相談ください。

* (整形外科外来は月～金の毎日午前中。萩原副院長の外来は月、金の午前です。)



図4 人工膝関節
耐久性に優れた金属と軟骨の動きをする特殊なプラスチックの組み合わせからなっている。

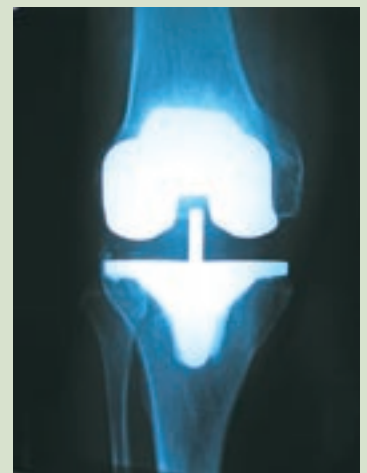


図5 図1の方の手術後、膝の変形は正常化、痛みなく歩けるようになっています。

外来待ち時間調査結果

総務課 末竹 久子

	内科	皮膚科	整形外科	小児科	外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	脳外科	歯科	全科の平均
診療までの待ち時間(平均)	56.8	14.2	34.7	18.9	94.6	21.6	19.1	35.0	44.6	6.2	12.8	22.1	34.5

(単位：分)

平成 21 年6月に外来待ち時間のアンケート調査を実施しました。

調査した結果、全科の診療までの待ち時間の平均は 34.5 分でした。中でも眼科と耳鼻咽喉科では以前は健康診断（視力検査・聴力検査等）と並行して診療を行っていたためお待たせすることがございましたが、8月より健診センター専用ブースを設け、健康診断の方は専用ブースにて上記検査を実施することで、外来患者さんの待ち時間短縮に向けて改善いたしました。

今後も各科での待ち時間の原因を究明し改善を図るとともに、待ち時間の有効的な活用方法なども視野に入れ、快適な医療サービスを提供していきたいと思っております。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

趣味を語る ~絶対に負けられない戦いがある~ 歯科口腔外科医長 川村 英司

もうサッカーについての説明はしなくていいほどメジャーなスポーツになりました。私が子供の頃は、短足でガニ股がするスポーツでした。ほんとにそんな先輩がいて、妙に納得していました。

サッカーは世界的にはフットボールと呼ばれています。昔英国で遊びとして広まっていたフットボールのルールを決める際、手を使うことを譲らなかったラグビー高校からラグビーが分かれ、手を使わないことを決めたグループから協会式フットボール、英語表記で association football というものが生まれました。この略語 soc に人を示す er がついて soccer となりました。「サッカー」というのは他のフットボール、つまりアメリカンフットボールがあるアメリカ、カナダなどでの呼び方で、日本はこの影響でしょう。



2006年クラブワールドカップにて川村医師(右)と夫人(左)

さて、残念ながらサッカーの言葉の解説だけで字数が足りなくなりました。日本は来年のワールドカップに出場が決まっています。日本代表も大会毎に確実に個人のレベルが上がっています。一つでも多く勝てるよう皆さんで応援しましょう。そして、世界のトップフットボーラーの華麗な技を楽しみましょう。

地域医療 連携室より

Part.
7

やまさき歯科医院

〒857-0044 佐世保市相生町2-5 エレナ相生店2階
TEL 0956-25-0648 FAX 0956-22-8121

院長 山崎 慎一郎 先生

市内相生町で歯科医師1名スタッフ4名の体制で診療しております、山崎と申します。

出身は鹿児島鹿屋で、九州歯科大学卒業後海上自衛隊に入り5年間勤務のあと、縁あって佐世保で開業しまして今年で21年経ちました。現在のテナントは3ヶ所目で、歯科の取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、たたむことなく運良く続けられております。

患者さんは高齢者からお子様まで幅広く来院されますが、私にとって技術的に対応が困難な場合や、他院の方が治療成績が良いと思われる場合は近隣の歯科医院（小児歯科、矯正歯科、口腔外科、歯周病専門医）や病院歯科を躊躇なくご紹介しております。

中でも炎症で顔の形が変わるほど大きく腫れたり、お口の中の腫瘍や親知らずの抜歯、舌痛症、顎関節症、インプラントなど口腔外科領域の患者さんは共済病院口腔外科の川村医長、川崎先生にお願いしております。

この紹介で特に最近増えてきたのが「歯牙移植」のケースです。残念ながら保存できずに大臼歯の抜歯が必要な患者さんの場合は、口腔内を見て親知らずが残っていれば、まず移植をお勧めしております。保存できない大臼歯を抜いたあとに親知らずを移すという方法で、移植する歯は自分の歯ですし、歯根膜という感覚受容がありますので他のブリッジや取り外しの入れ歯に比べて色々な面で有利と考えます。今まで多くの患者さんを施術していただきましたが失敗例がありません。

また患者さんの紹介以外にも、川崎先生には抜歯後の出血が止まらず電話でアドバイスをいただいたり、川村医長には午前中診療時間内にもかかわらず当院に来て止血処置をしてもらったり、往診先に一緒に行って基礎疾患のある寝たきりの患者さんの抜歯をするなどの対応していただき、大変心強くありがたく思っております。

これからの共済病院口腔外科のますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、末永いご指導そして連携を今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



山崎先生とスタッフの皆さん

年末年始の当直体制

(平成21年12月29日～平成22年1月3日)

	当 直			当 直	
	8:30～17:30	17:30～翌8:30		8:30～17:30	17:30～翌8:30
平成21年12月29日(火)	整形外科	放射線科	平成22年1月1日(金)	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
平成21年12月30日(水)	整形外科	麻酔科	平成22年1月2日(土)	放射線科	内科
平成21年12月31日(木)	内科・外科(二次待機)		平成22年1月3日(日)	内科	皮膚科

*産婦人科は連日待機しております。

編集後記

表紙のキラキラフェスタ、きれいですね。みなさんは夜空の星が一年で最もきれいなのはいつか御存知ですか。実は、冬の今の時期なのです。理由は一等星が多いなど色々あるようですが、たまには仕事帰り、家の前で足を止めて夜空の★星を眺めて冬の冬の大三角形を探してみたいかがでしょうか。

編集委員 栄喜 貴穂

佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 21 年 12 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	原口 総一郎	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	部長代行	今泉 登史宏	●		●						●		神経内科・神経変性疾患・認知症
	医 長	田中 實	●				●				●		総合診療科・糖尿病・消化器内科
	〃	樋口 泰雄			●		●		●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
	〃	長門 直	●				●		●				総合診療科・感染症
	医 員	鈴木 邦裕			●				●				呼吸器疾患
	〃	大塚 伸			●		●						腎臓疾患
	〃	橋本 朋也	●									●	腎臓疾患
	非常勤医	田淵 くらみ			●								循環器疾患
	〃	金谷 誠司					●						循環器疾患
	〃	溝口 祐輔	●								●		呼吸器疾患
	〃	熊谷 英太	●		●								循環器疾患
〃	大野 聡子									●		循環器疾患	
〃	有村 忠聰									●		循環器疾患	
消化器センター 担当医師			●		●		●		●		●		上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD等
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	部 長	井原 司						●	●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	〃	澤田 健太郎	●				●						血管外科・一般外科
	副 部 長	川畑 方博			●					●			肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
	〃	原田 洋			●					●			消化器外科・一般外科・乳腺外科
	医 長	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医 員	赤司 昌謙	●						●				一般外科
非常勤医	光岡 正浩									●		呼吸器外科	
小児科	部 長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	非常勤医	小松 博子											
	乳 児 健 診					●							火曜 午後1時から診察開始
	慢 性 外 来							●					水曜 午後2時から診察開始
喘 息 外 来									●			木曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	部 長	川口 務	●				●				●		脳卒中の外科・脳血管内治療・脊髄外科
	医 員	中谷 充			●				●				脳卒中の外科・脳血管内治療・救急医療
頭 痛 外 来				●									火曜 10時から診察開始
整形外科	副 院 長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部 長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医 長	寺本 全男	●						●		●		関節リウマチ、手の外科、人工関節置換術
	〃	花田 麻須大	●								●		手の外科、マイクロサージェリー
	医 員	水城 安尋			●		●			●			肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	〃	弓削 英彦			●		●		●				整形外科一般
〃	志田 義輝	●				●		●				整形外科一般	
皮膚科	医 長	鶴田 紀子	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍、男性型脱毛、その他、皮膚小手術（火・水・金の午後）陥入爪、ピアスなど
	医 員	多良 明子	●	●	●		●		●	●	●		
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部 長	江口 二郎	※		●				●		●		男性不妊（江口部長）
	医 員	東武 昇平	※		●		●		▲				※：第2・4（江口部長）第1・3・5（東武医員）が診察を行います ▲の診察は10時30分からです
産婦人科	院 長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部 長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下 秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医 員	岩永 巖	●■		●		●■				●		▲は病棟回診後に診察開始のため遅れます
〃	佐藤 麻衣	●		▲				●		■			
眼 科	医 長	宇野 英明	●		●	※	●	※	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術、光線力療法、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など
	医 員	舌間 朋美	●		●	※	●	※	●		●		※：火・水曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）
耳 鼻 咽 喉 科	医 長	門田 英輝	●		●		●		●		▲	●	アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患・耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術 ▲の診察は完全予約制です
	医 員	吉田 崇正	●	●	●		●		●		●		
放射線科	部 長	野々下 政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査、消化管造影
	医 員	楠元 正志											
	〃	久原 麻子											
麻 酔 科	部 長	深野 拓	●						●		●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来 月～金午後は手術麻酔
	医 長	吉村 真紀			●		●				●		
	医 員	木本 文子	●		●				●				
	〃	鳥居 和広					●						
	非常勤医	別府 幸岐											
〃	志田 知佳美												
歯 科 口 腔 外 科	医 長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●		●	●	顎変形症（外科的矯正）・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
	医 員	川崎 大生	●	●	●	●	●	●	●		●	●	紹介患者のみ新患受付
健 診 セ ン タ ー	医 長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										
糖尿病教室								●		●		●	（第2・3週のみ）※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
ストーマ外来			※お申し込み・お問い合わせは、外科・泌尿器科外来までお電話下さい。										